

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-144	小学校	算数科	算数	第5学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	算数 506	小学算数 5		

## 1. 編修の基本方針

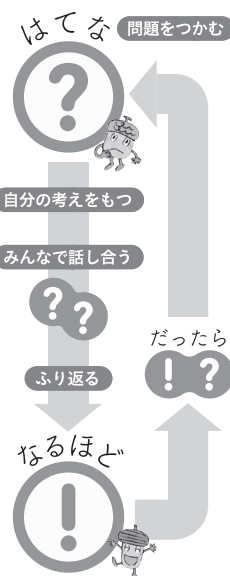
社会が急速に変化し、将来の予測が困難な時代を生きる子どもたちには、主体的に学び、社会と関わり、他者と協力しながら、自ら未来を創り出していく力を育成することが求められます。

生涯にわたってつづく学びの原点となる小学校教育では、自ら考えて「わかった・できた」を実感する喜びや、友だちと一緒に問題を解決する充実感、学びと学びがつながり深まったときの感動を味わわせ、次の学びへと向かっていく力にしていきたいと考えます。

本書は、教育基本法が掲げる教育の目的及び目標の実現に向けて、以下の基本方針のもとに執筆・編修にあたりました。

## 問いつづけ、よりよいものを求めて 改善しつづける子どもを育てる

- 1** 数学的活動の充実と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて  
**子どもの“問い”を軸に学習を進める教科書**
- 2** 思考力・判断力・表現力の育成のために  
**数学的な見方・考え方を働かせて学び合う教科書**
- 3** 生きて働く知識・技能の習得のために  
**学びと学びを系統的につなげる教科書**
- 4** 学びに向かう力、人間性等の涵養のために  
**学び方を身につけ、算数を学ぶよさを実感する教科書**



# 1

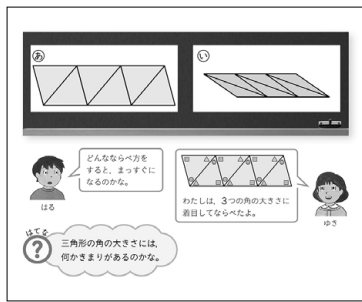
## 数学的活動の充実と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて 子どもの“問い”を軸に学習を進める教科書

深い学びは，“問い”をもつことから始まります。“問い”をもち、学び合いを通して解決することで、学ぶ前よりも一歩成長することができます。そのような子ども一人一人の深まりを大切に、教科書を構成しています。

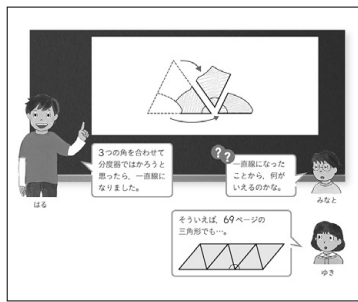
### 問いの連続でつくる数学的活動

子どもの <sup>はてな</sup> ① から <sup>なるほど</sup> 学習めあてをつくり、主体的・対話的な学びを通して“問い <sup>？</sup>”を深め、<sup>はてな</sup> ① を見だし、さらに、<sup>だったら</sup> 新たな“問い <sup>！</sup>”へとつなげていきます。

学習めあてとなる子どもの問い



学びを深める問い



見方・考え方のまとめから、  
新たな問いへ



▲ p.69-71

### 「単元のまとめ」で学ぶ意義を実感する

単元導入の「きっかけ」ページでは、身近な題材から問題を発見し、算数の問題としてモデル化し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるようにしています。

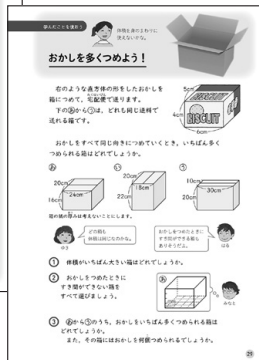
単元末「学んだことを使おう」では、単元で学習したことを日常場面に活用することで、「何ができるようになったのか」を実感できるようにします。

単元導入



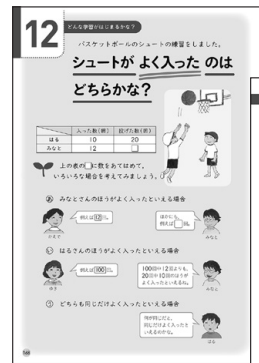
▲ p.16

単元末



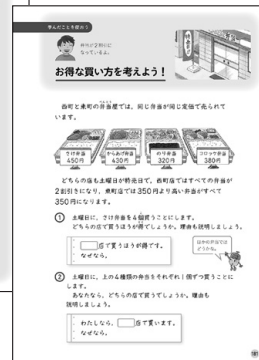
▲ p.29

単元導入



▲ p.168

単元末



▲ p.181

# 2

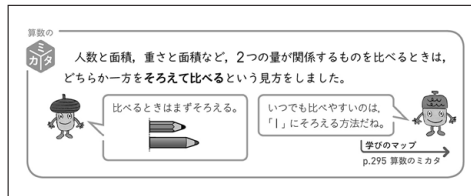
## 思考力・判断力・表現力の育成のために 数学的な見方・考え方を働かせて学び合う教科書

数学的な見方・考え方を顕在化し、繰り返し用いてきていることを意識づけることにより、課題を解決したり探究したりする際の手段として、子どもが主体的に活用していけるようにします。

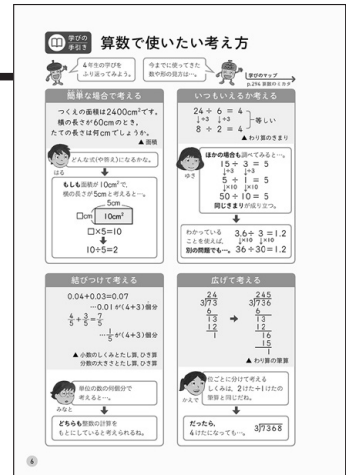
### 数学的な見方・考え方

「算数で使いたい考え方」として、単純化、一般化、統合、発展といった数学的な考え方を子どもの言葉で示し、自分で考えたり、友だちと学び合ったりする際に使っていけるようにします。

また、「算数のミカタ」として、各領域を貫く数学的な見方にも着目できるようにし、以降の学習で繰り返し用いていきます。



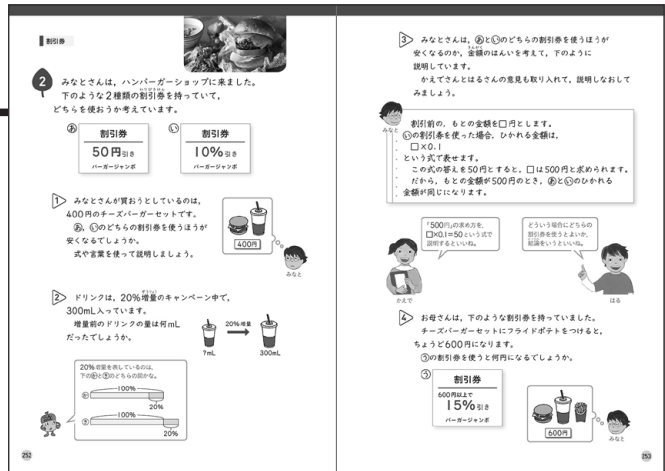
▲ p.145



▲ p.6

### 読解力・表現力

全国学力・学習状況調査のB問題では、記述式問題に課題がみられます。そこで、他者の説明をもとに場面や数値を発展させて説明し直したり、不十分な説明を修正・改善したりする活動を取り入れ、筋道を立てて説明する力を育てるようにしています。



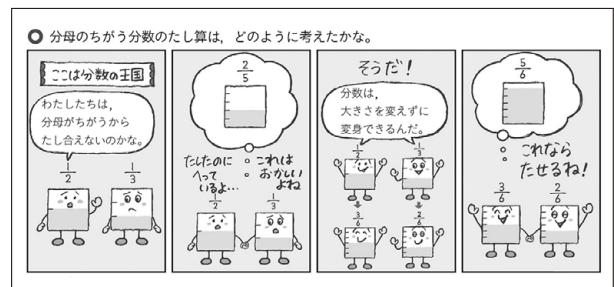
▲ p.252-253

### 4コマ漫画

単元まとめでは、学んだことのよさや考え方を振り返る4コマ漫画を設け、単元や領域を貫く数学的な見方・考え方を意識づけ、学びをつなげていきます。



▲ p.55



▲ p.124

# 3

## 生きて働く知識・技能の習得のために 学びと学びを系統的につなげる教科書

知識・技能は、一度で定着するものではありません。だから、確実な定着を図るために、既習事項を振り返りやすくしています。知識・技能を繰り返し用い、新しく学ぶことと既習事項を結びつけることで、理解が深まっていきます。

### 考えるヒント

単元まとめでは、各種学力調査でつまづきがみられる問題に対して「考えるヒント」を掲載して、丁寧に指導・支援にあたれるようにしています。

1 下の表は、3台のエレベーターに乗っている人数と面積を表したものです。  
どのエレベーターが、いちばんこんでいるでしょうか。

エレベーター	人数(人)	面積(m <sup>2</sup> )
1号機	8	4
2号機	8	5
3号機	9	

1 考えるヒント 求めた答えの意味を考えよう

1号機のみくみあいを探るために、右の図と式をかきました。

① 答えの2は、何を表しているでしょうか。  
② 1m<sup>2</sup>あたりの人数が2人と1.6人では、どちらのほうがこんでいるでしょうか。

▲ p.156

### 学びのマップ

既習事項を巻末「学びのマップ」にまとめ、関連する単元からリンクし、学年を超えて既習事項を振り返れるようにしています。

▶ p.294-303

# 4

## 学びに向かう力、人間性等の涵養のために 学び方を身につけ、算数を学ぶよさを実感する教科書

### 学び方を学ぶ

巻頭「算数をはじめよう！」で示した学習の進め方を、授業開き教材「2つに分けよう」で実践してみます。主体的・対話的で深い学びの過程を共有することで、質の高い学び合いができる学級づくりに生かしていきます。

### 何ができるようになるか

教科書全体で、活動の目的意識を大切にしています。単元導入の「きっかけ」ページ、単元末「学んだことを使おう」、学年末「算数を使って考えよう」などの数学的活動を通して、「何ができるようになるか」を実感しながら算数の学習に取り組めるようにします。

▲ p.2-9

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1 整数と小数	東京オリンピックのマラソンコースの題材を通して、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うようにしました。(第5号)	p.10
2 体積	友だちのノートの書き方のいいところを見つける活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.30～31
3 2つの量の変わり方	自ら問いをもち、追究し、さらなる問いへとつなげていく姿をフキダシで示し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.35～37
4 小数のかけ算	式の意味や、求めた答えの意味について問いをもち、図や式などを使って説明する活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.45, 47
5 合同と三角形、四角形	三角形の内角の和で見いだしたきまりをもとに、四角形の内角の和についても発展的に考え追究する活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.70～72
6 小数のわり算	式の意味や、求めた答えの意味について問いをもち、図や式などを使って説明する活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.79, 81
7 整数の見方	友だちの考えを関連づけたり、自他の考えを比較してよりよい考えを見いだしたりする対話的な学びを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.100
8 分数の大きささとたし算、ひき算	友だちと一緒に学びながら学習課題を見いだす活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.113
9 平均	平均の学習を活用して、自分の歩幅で身のまわりの長さを測る活動を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	p.133
10 単位量あたりの大きさ	友だちの考えを関連づけたり、自他の考えを比較してよりよい考えを見いだしたりする対話的な学びを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.140～141
11 わり算と分数	自ら問いをもち、追究し、さらなる問いへとつなげていく姿をフキダシで示し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.157～159
12 割合	友だちの考えを関連づけたり、自他の考えを比較してよりよい考えを見いだしたりする対話的な学びを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.168～170
13 割合とグラフ	身近な地域の特産物についてグラフを使って伝える活動を通して、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うようにしました。(第2号)	p.184～185
14 四角形や三角形の面積	自ら問いをもち、追究し、さらなる問いへとつなげていく姿をフキダシで示し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.200, 205
15 正多角形と円	コンピュータは人が命令を与えることによって動作することに気づき、より主体的に活用していくきっかけとなるように、正多角形の作図のプログラムを作成する活動を取り入れ、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)	p.228～229
16 角柱と円柱	友だちと一緒に学びながら学習課題を見いだす活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.240～241
□ 算数を使って考えよう	ユネスコ無形文化遺産「和食」について調べ、外国人旅行者をおもてなしすることについて考える題材を通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うようにしました。(第5号)	p.250～251
巻頭・巻末	準天頂衛星システム「みちびき」について紹介する話題を通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うようにしました。(第5号)	表3

## 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

### ○カラーユニバーサルデザイン（CUD）や特別支援教育への対応

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

### ○「パラリンアート」の取り組み

さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、障がいのある人が描いた作品（障がい者アート）を教科書に掲載することにより支援する、「パラリンアート」の活動にも取り組んでいます。

### ○地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-144	小学校	算数科	算数	第5学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	算数 506	小学算数 5		

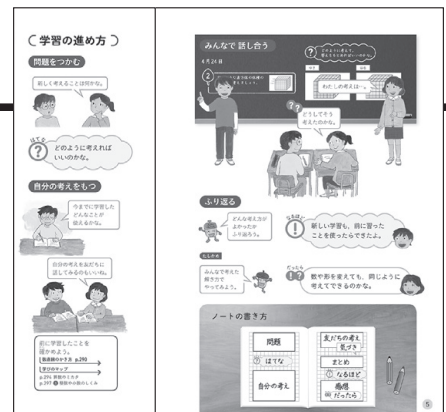
## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### 1

## 数学的活動の充実と、主体的・対話的で深い学びの実現

### 数学的活動

- 問題発見・解決の過程を「はてな?」「なるほど!」「だったら!」のフキダシで示し、子どもの“問い”の連続によって学習を進めるスタイルを、授業展開の基本に据えました。第5学年では特に、解決過程を振り返って発展的に考える活動を重視しています。
- 巻頭「算数をはじめよう!」では、このような算数の**学習の進め方を学級で共有**できるようにしています。(p.2~5)



▲ p.4-5

- 単元導入の「きっかけ」ページでは、身近な題材から問題を発見し、算数の問題としてモデル化し、**目的意識をもって数学的活動に取り組める**ようにしています。また、単元末「学んだことを使おう」では、単元で学習したことを日常場面に活用することで、「**何ができるようになったのか**」を実感できるようにしています。(p.168, p.181, p.184, p.192~193等)

### 主体的・対話的で深い学び

- 主体的・対話的で深い学びのモデル**となる授業展開を掲載しています(学年2回)。子どもの“**はてな?**”から学習めあてをつくり、学び合いを通して“**問い**”を深め、解決に用いた見方・考え方を振り返って“**なるほど!**”にまとめ、さらに、新たな“**問い**”へとつなげていきます。(p.19~21, p.139~141)



▲ p.139-141

# 2

## 思考力・判断力・表現力の育成

### 数学的な見方・考え方

- 「算数で使いたい考え方」として、単純化、一般化、統合、発展といった**数学的な考え方を子どもの言葉**で示し、学び合いに使っていただけるようにしています。(p.6)
- 「算数のミカタ」として、**各領域を貫く数学的な見方**にも着目できるようにし、以降の学習で繰り返し用いていきます。(p.48, p.145, p.294～295等)
- 答えを求めて終わりではなく、新たな問題発見につなげる学び（**「なるほど」から「だったら」**）によって、**統合的・発展的に考察する力を**養います。(p.47, p.200等)
- 単元まとめでは、**学んだことのよさや考え方を振り返る4コマ漫画**を設け、単元や領域を貫く**数学的な見方・考え方を意識づけ**、学びをつなげていきます。(p.55, p.124等)

### 言語活動と学び合い

- 友だちの発表に対して質問したり付け足したりするフキダシを示し、**学びを深める話し合い**ができるようにしています。(p.100, p.170等)

### ノート指導

- 友だちのノートの書き方のいいところを見つける活動を設け、**学び合いを通してノート指導**ができるようにしています。(p.30～31, p.142～143)

### 統計的な見方・考え方

- 統計的な問題解決に関わる活動では、データの収集や分類整理、考察などの過程において、活動の目的意識を大切にしています。また、**統計的探究プロセス**についても理解を図り、他教科や実生活に活用していただけるようにします。(p.184～193)

▶ p.192-193

### B問題への対応

- 全国学力・学習状況調査のB問題を踏まえ、**単元末と学年末の2段階で活用問題**を設けています。学年末「算数を使って考えよう」では、複数の学習内容にまたがる総合的な活用問題を設定し、問題把握、見通し、実践、評価・改善といった一連の問題解決を通して、筋道を立てて考え表現する力を育成します。(p.250～253)
- **B問題で課題がみられる記述式問題**について、他者の説明をもとに場面や数値を発展させて説明し直したり、不十分な説明を修正・改善したりする活動を取り入れ、筋道を立てて説明する力を育てるようになっています。(p.253)

疑問に思ったことを調べてみよう!

- ① テーマを見つける  
「疑問に思ったことなど、明らかにしたい問題を決める。」
- ② 計画を立てる  
「どんなデータを、どのように集めるのがよいか考える。」
- ③ データを集めて整理する  
「データを集めて、目的に沿った分類を繰り返して、見やすく整理したりする。」
- ④ 分けるをする  
「目的に合わせて表やグラフに表したり、データの持ちようをよみてつたりする。」

性別	年	組	合計
男子	12	8	21
女子			41
合計			62

算数を使って考えよう

外国人旅行者の数の推移を調べてみました。

年	外国人旅行者の数の割合 (%)
2006年	10
2007年	15
2008年	20
2009年	25
2010年	30
2011年	35
2012年	40
2013年	45
2014年	50

好きな食べ物 (100%)

食べ物	割合 (%)
すし	45
刺身	35
その他	20

上のグラフで、「すし・さしみ」が好きな人の割合は約何%でしょうか。  
 ①から④の中から、いちばん近いものを選びましょう。

① 15%   ② 25%   ③ 35%   ④ 45%

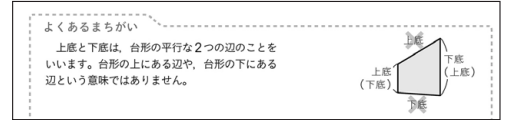
▶ p.250-251

# 3

## 生きて働く知識・技能の習得

### つまづきやすい問題の意識化

- 単元まとめでは、各種学力調査でつまづきが見られる問題に対して「考えるヒント」を掲載し、丁寧に指導・支援にあたるようにしています。(p.156, p.183等)
- 脚注コラム「よくあるまちがい」では、誤答例を示すことによって、正しい理解が得られるようにしています。(p.120, p.215等)



▶ p.215

### 基礎的・基本的な知識・技能

- 巻末の練習問題「ステップアップ算数」は「きほんの問題」と「ジャンプ問題」で構成し、個に応じた、主体的に家庭学習に取り組めるようにしています。(p.259～277)

### 知識・技能をつなげる工夫

- 既習事項を巻末「学びのマップ」にまとめ、関連する単元からリンクし、学年を超えて既習事項を振り返れるようにしています。(p.294～303)

# 4

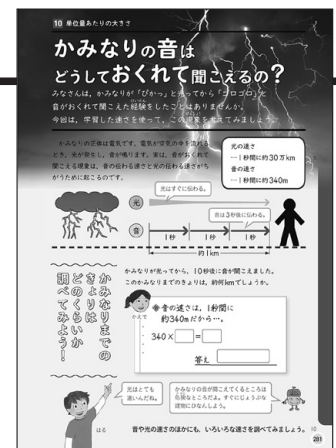
## 学びに向かう力、人間性等の涵養

### 学び方を学ぶ

- 巻頭「算数をはじめよう！」で示した学習の進め方を、授業開き教材「2つに分けよう」で実践してみます。主体的・対話的で深い学びの過程を共有することで、質の高い学び合いができる学級づくりに生かしていけます。(p.7～9)

### もっと学びたい意欲に応える

- 知的好奇心に応える特設教材やコラムを随所に設けています。(p.42, p.66, p.163等)
- 巻末「広がる算数」では、子どもの興味・関心を刺激し、自ら学習を広げる探究的な話題を掲載しています。(p.278～284)



▶ p.281

### 何ができるようになるか

- 教科書全体で、活動の目的意識を大切にしています。単元導入の「きっかけ」ページ、単元末「学んだことを使おう」、学年末「算数を使って考えよう」などの数学的活動を通して、「何ができるようになるか」を実感しながら算数の学習に取り組めるようにします。



# 5

## その他の配慮事項

### 学年間の円滑な接続

- ・復習ページでは、次単元で使う知識・技能を確認する問題を設けています。(p.43, p.167等)
- ・単元の導入などでは、既習事項をスパイラルに扱ったり、関連する内容にリンクしたりして、系統的に学習を進められるようにしています。(p.113, p.240等)

### 他教科等との関連

- ・他教科や学校の活動と関連した場面を題材として用いるように配慮し、必要感をもって学習に取り組めるようにしています。(p.97, p.184等)
- ・友だちと学び合い、互いのよさを認め合うなど、道徳科との関連を図っています。(p.30～31等)


### 個に応じた指導、家庭学習

- ・家庭学習のページ「ステップアップ算数」は、2段階のレベルで問題を構成し、理解の程度に応じて取り組めるようにしています。(p.259～277)
- ・単元まとめでは、「ふり返ろう(知識)」と「たしかめよう(技能)」に分けて、学習内容を簡潔にまとめているので、家庭学習等でも振り返りやすくなっています。また、「考えるヒント」は、つまずきがちな子どもへの丁寧な指導・支援として効果的です。(p.182～183, p.220～221等)
- ・進度が早い児童が取り組める問題や、知識を広げる話題などを、脚注コラム「センスアップ」や「算数メモ」, 「算数ミニクイズ」で紹介しています。(p.27, p.161等)

### 特別支援・ユニバーサルデザイン

- ・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントの採用により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

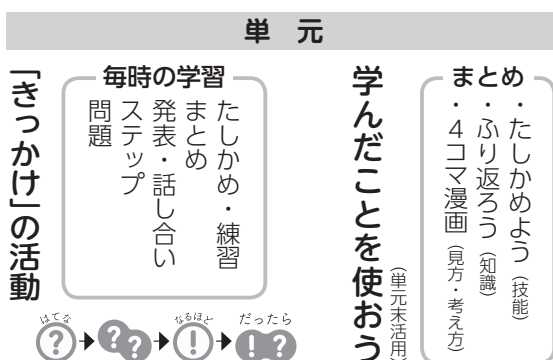
### コンピュータなどの活用

- ・を付けたところでは、デジタルコンテンツを活用して効果的に学習ができるようにしています。正多角形の作図では、算数の授業で使いやすい独自開発のプログラミングツールにリンクしています。(p.199「平行四辺形の面積の求め方」, p.228～229「正多角形の作図プログラミングツール」等)

### 教科書の構成

算数をはじめよう！

- ・2つに分けよう(授業開き教材)
- ・算数で使いたい考え方
- ・学習の進め方



ふくしゅう

算数ワールド (特設教材)

算数を使って考えよう (学年末活用)

学年のまとめ

自分で取り組むページ

- ・教科書に出てきた言葉
- ・学びのマップ(既習内容のまとめ)
- ・学びの手引き(図のかき方等)
- ・広がる算数(探究的な話題)
- ・ステップアップ算数(家庭学習)

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1 整数と小数	A (2) ア (ア) A (2) イ (ア)	p.10～15 p.10～15	3
2 体積	B (4) ア (ア) B (4) ア (イ) B (4) イ (ア)	p.16～27 p.19～33 p.16～33	11
3 2つの量の変わり方	A (6) ア (ア) A (6) イ (ア) C (1) ア (ア) C (1) イ (ア)	p.34～41 p.34～41 p.34～37, p.41 p.34～41	5
4 小数のかけ算	A (3) ア (ア) A (3) ア (イ) A (3) ア (ウ) A (3) イ (ア) A (6) ア (ア)	p.44～48 p.44～56 p.44～56 p.44～56 p.53	10
5 合同と三角形, 四角形	B (1) ア (ア) B (1) ア (イ) B (1) イ (ア)	p.58～67, p.76～77 p.68～77 p.58～77	14
6 小数のわり算	A (3) ア (ア) A (3) ア (イ) A (3) ア (ウ) A (3) イ (ア) C (3) ア (ア)	p.78～82 p.78～94 p.78～94 p.78～94 p.92	14
7 整数の見方	A (1) ア (ア) A (1) ア (イ) A (1) イ (ア)	p.97～100, p.111～112 p.101～112 p.97～112	11
8 分数の大きさとたし算, ひき算	A (4) ア (ウ) A (4) ア (エ) A (4) イ (ア) A (5) ア (ア) A (5) イ (ア)	p.113～116, p.124～125 p.117～118, p.124～125 p.113～118, p.124～125 p.119～125 p.119～125	9
9 平均	D (2) ア (ア) D (2) イ (ア)	p.126～135 p.126～135	6
10 単位量あたりの大きさ	C (2) ア (ア) C (2) イ (ア)	p.138～156 p.138～156	12
11 わり算と分数	A (4) ア (ア) A (4) ア (イ) A (4) イ (イ)	p.160～161, p.164～165 p.157～159, p.162～165 p.157～165	6
12 割合	C (3) ア (ア) C (3) ア (イ) C (3) イ (ア)	p.168～172 p.173～183 p.168～183	13
13 割合とグラフ	D (1) ア (ア) D (1) ア (イ) D (1) イ (ア)	p.184～195 p.192～193 p.184～195	7
14 四角形や三角形の面積	A (6) イ (ア) B (3) ア (ア) B (3) イ (ア) C (1) ア (ア)	p.212 p.198～221 p.198～221 p.212	16
15 正多角形と円	A (6) イ (ア) B (1) ア (ウ) B (1) ア (エ) B (1) イ (ア) C (1) ア (ア)	p.233 p.222～229, p.237～238 p.230～238 p.222～238 p.233	11
16 角柱と円柱	B (2) ア (ア) B (2) イ (ア)	p.240～248 p.240～248	6
		計	154

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-144	小学校	算数科	算数	第5学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	算数 506	小学算数 5		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
70	算数メモ	1	B (1) ア (イ) 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解すること。 上記に関連して、三角形の3つの角の大きさの和などを調べる活動の中で、「内角」、「内角の和」の用語を知る。	0.25
196	四角形の関係を調べよう	1	B (1) イ (ア) 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだし、その性質を筋道を立てて考え説明したりすること。 上記に関連して、既習の四角形(台形、平行四辺形、ひし形、長方形、正方形)の性質を表にまとめ、それらの相互関係について考察する。また、その関係をベン図に表すことができることを知る。	1
226	おうぎ形	1	B (1) ア (ウ) 円と関連させて正多角形の基本的な性質を知ること。 上記に関連して、円を2つの半径で切り取ってできる図形を「おうぎ形」ということや、この2つの半径の間の角を「中心角」ということを知る。	0.5
280	不思議な整数 素数って何?	1	A (1) ア (イ) 約数、倍数について知ること。 上記に関連して、素数の意味を知り、素数を見つける活動を通して、整数についての理解を深める。	1
合 計				2.75

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容